

タウンミーティング あったかいまち「ふじみ野」を目指して

日 時 平成27年2月15日（日）午後7時～8時36分

会 場 上野台自治会（上野台集会所）

天 気 晴れ

参加者 42人



主な意見等

参加者 最近風呂の事故が多く、私も一人暮らしで心配です。安心して入浴できるような対策はないでしょうか。

市 長 皆さんのお住まいはUR物件ですので、自治会長さんと連携をとり、市役所として支援ができるのかURに支援をしてもらうのか、URと話をしてみます。

参加者 ふじみ野市は東武東上線を境に地形的に東西に分かれていて不便です。特に上福岡駅そばの踏切は交通量が多く危ないと感じています。東西の行き来を容易にできるよう、周辺の自治体と連携するなどして、線路の高架化について取り組んでほしいと思います。

市 長 おっしゃる通りです。実は東武東上線に対して近隣の自治体の首長が集まり、沿線の対策協議会を設立しています。先月も東武東上線の関係者と連続立体高架について話しをしてきました。引き続き東武東上線にかけあっていきます。

参加者 上野台小学校の子どもの数が増えており、教室数に不足が発生するのではないかと危惧しています。急な人口増加に対応するのは難しいと思いますが、レクリエーションルームなどの削減を行わない形で対策を検討してほしいです。

市長 実際に市内の小学校を訪問し、感じるものがたくさんありました。例えばですが、時間があまりにもきつきつで教育に支障がでるのではないかと思います。上野台小学校は、過去に子どもの数が少なく当時の第2小学校と第4小学校が統合されてできた学校です。私も市長になる前に学区審議会の委員をしており、適正な学校運営のために統合に賛成をしました。その後、団地の更新事業が始まり民間に土地が売却されていきました。現在は事業成果もあり子どもの数が増えています。教育委員会の見解ではなんとか教室の数は足りるだろうということですが、少人数指導といった様々な取り組みに影響がでることは懸念されます。子どもたちの環境を損ねない形で、教室数の問題については取り組んでいこうと考えています。

また、教育制度が平成27年4月1日から変わります。これまでは市長部局と教育委員会は分かれており、問題が起きた時に市長部局の責任逃れに利用されるようなケースもありました。しかし、新しい制度では総合教育会議を市長が設置します。ご指摘いただいた点につきましては、今後も力を入れていきたいと考えています。

参加者 小学校2年生になる子どもに英語の授業があったらいいのと言われてきました。県内でもいくつかの事例があるように、ふじみ野市の小学校でも英語の授業を取り入れて欲しいです。また、他にも教育に関して取り組んでいるものがあれば教えてほしいです。

市長 ふじみ野市でも英語の授業をやっている学校があります。ほかにもICT教育の一環として電子黒板と電子教科書を取り入れています。この周辺の自治体ではICT教育ではトップレベルです。それに甘んじることなく様々な取り組みを進めたいと思っています。また、今後は特別教室にもエアコン設置を行っていききたいと考えています。

参加者 災害防止の具体策として提案があります。災害はいつ起こるか分か

らないため、日常の中で訓練を行う必要があると考えています。具体的に言いますと小学校の登下校や、幼稚園の送迎バスといった日常のケースを想定して行ってほしいと思います。特にこのあたりでは住宅が密集していて、火災が発生した場合被害が大きくなる恐れがあるので、行政サイドで地区の特色に沿った取り組みをしてほしいです。

市長 私も消防団に所属していたころに感じていたことの一つに、訓練のための訓練になってしまっていることが多かったということがあります。また、管内にある消防車の数は限られていますし、消防車がかけても消火栓から実際に水がでるかどうかもその時になってみないとわからない状況です。そのような時に自らの身を守ることができるよう小学生に限らず、防災教育について取り組んでいきたいと考えています。

参加者 保育所の廃止について、廃止の話が先行しており新設する保育所について広まっていません。署名の前に知っていればよかったのにと思っています。実際に署名活動をされているお母さんも正しい情報を知らないで活動しているかもしれないと思いました。市として正確な情報が発信されていれば抗議運動も少なかったと思いました。

市長 行政としての情報発信が不足していたことは申し訳なく思っています。保育所の廃止について議会にて決定していますが、廃止の撤廃について直接請求がされており署名の審査の後、議会にて審議されることとなります。廃止の検討を開始したきっかけは保育所の耐震基準の診断を行った結果、問題のある保育所が複数判明したことによるものです。本来は一定規模の建物が対象の診断ですが、それ以下の建物には診断を行わないというのは間違っていると考えたため全ての保育所に診断を実施しました。4カ所が基準を満たしていない状態にあり、特に亀居保育所と西保育所については非常に危険な状態にあったため廃止することにしました。廃止をするにあたって子どもたちの行き場がなくなってしまうのは困ります。そのため待機児童対策として今年4月に283名増員の予定で3園の開園を準備しています。亀居と西のお子さんは優先的にそちらに入れるようになっています。待機児童対策として283名用意していましたが、結果として残念ながら103名の対策にしかありません。しかし、ふじみ野市の場合は平成18年に公共施

設にて幼い女の子が命を落としました。その時、ずさんの連鎖と批判をされましたが、行政の管理の部分に問題があったことは決して忘れてはいけないことです。そういうことですから埼玉県一、日本一安全対策を怠らない自治体を目指しています。子どもの環境が変わるという問題もありますので、なんとか現在の施設を使って保育を継続できないかぎりぎりまで考え抜いて時間をかけたので、急に廃止の話がでてきたような形になってしまいました。

来年度には4園の新設を計画しており400名の増員がありますので、残りの基準を満たしていない2園についても早急に安全な場所に移って欲しいと思っています。

現在は公立保育所には建設及び運営について国からの補助金は全くなくなっています。保育所をより多くの人に利用してもらうためには民間の保育所に移行していく方針を考えています。それは限られた財源を有効活用するためであり、保育を継続していくためです。公立で保育をする場合、補助金がないことから1人あたり140万円かかります。しかし、民間で保育をする場合、市としての持ち出しは40万円で済みます。そのため、民間にお任せすれば公立1人分の財源で3人預かれることとなります。建設についても公立保育所を立てる場合3億円程度かかりますが、民間でしたら国や県、市からも補助しますので負担を大きく軽減することができます。廃止に反対する人たちからは300人の待機児童がいると主張されていますが、それは去年の12月時点です。1月に入所選考をしましたら212名になりました。その方たちも2次選考にて第1希望以外の保育所に入所できますし、入園承諾が得られなかったという通知を会社に出して休職延長をするために申し込みを行う方も含まれています。去年の実績ですが実際に待機児童となったのは7名です。その方たちも認可外保育所や家庭保育室を使って保育をしていただけるよう、保育料軽減の補助金も出しています。

繰り返しになりますが、子供の安全が何よりも最優先です。0歳児の保育は3人のお子さんに対し、保育士が1人です。万が一耐震基準の低い建物で地震が起きたら3人のお子さんを抱えて避難できるでしょうか。私は信念を曲げず子どもの安全を第一に考えていきます。

参加者 市の将来を担うであろう子どもと行政が市の将来像について話し合う機会を持ってほしいです。

市 長 非常に有益な提案だと思えます。色々な年代層の話を聞くことはとても参考になります。学校訪問の中で子どもたちといっしょに給食を食べました。その時も面白い話をたくさん聞くことができました。

参加者 吸い上げた意見を検討した結果についても市民にフィードバックしてほしいです。これからは市が全部やるのではなく市民が積極的に参加していく社会になるべきだと思います。

市 長 承知しました。

参加者 保育所の問題をみて思ったことですが、市と市民の情報交換が有効に行われていないのではと危惧しています。市の取り組みは市報に掲載されていますが、取り組みについて知らない市民も多く、十分な情報発信が行われていないと考えています。

市 長 ホームページや市報に掲載をしていますが、情報発信が不十分な部分があると感じています。ほかに有効な情報発信方法がないか検討していきたいと思えます。保育所問題についてもふれあい座談会といった市民との話し合いの場を通して説明をつくしていきます。

参加者 ふじみ野市の雰囲気非常に気に入っていますが、いくつか改善してほしいところがあります。たとえば新河岸川沿いの緑道入口の外観がよくないと思えます。工事現場のロープのようなものはあってあり安全性にも懸念があります。市民の交流の場として整備を行ってほしいです。コストの問題もありますので費用対効果を考えつつ手を加えていただきたいと思えます。ほかには市の花を植えるなどで上福岡駅前の景観を改善してほしいです。

市 長 駅の東口について少しずつ改善を行っています。昭和30年代の都市計画決定が半分だけできたという状況です。以前は駅前に建物がありまして、土地は東武鉄道が所有して、建物は民間が所有している状況でした。まずはそこを動かすことに全力投球しました。

駅のロータリーを広くしたいと思う反面、駐車車両が増えるという

警察の指摘もあり難しい面があります。ロータリー整備について限られた財源の中で改善していきたいと考えています。

新河岸側についても桜を植えたら景観が良くなると思うのですが、樹木を植えることで土手本来の機能が弱くなってしまうという問題もあり難しいところです。ご提案いただいたとおり、少し手を加えることで改善できることもあると思いますので考えて行きたいと思います。

参加者 4月に介護保険の改定があり、地域支援事業に3年を目安に移行していかないといけない部分が出てくると思います。また、認知症施策の国家戦略が出てきている中で、ふじみ野市の具体的な方向性と考えを聞かせてください。

市長 地域支援については29年の3月を目標に進めていくつもりです。その中で地域支援については現場の声を聞きながら、変えていこうと考えています。

高齢者施設についても可能な限り設置の働きかけを行っています。また、高齢者専用賃貸住宅からサービス付き高齢者施設に変わった際に住所地特例の付き方についても変わってしまいました。これについても太田国土交通大臣に直訴をした結果、制度改正をすることができました。

認知症施策については具体的にはお話しできるところまで進んでいません。

参加者 自治会として上野台2丁目に横断歩道を設けて欲しいということで署名を集めています。市長のところにあがりましたら横断歩道の設置について検討してほしいです。

市長 ご要望を検討させていただきます。